| 学校番号 | ４０４ |
|---|---|

# 平成 31 年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 英語 | 英語表現Ⅰ | 2 | 第２学年 | 教育出版　NEW ONE WORLD Expressions I Revised Edition |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 文法事項は覚えて終わりではなく、それをいかに活用して自分が言いたいことを伝えるかが大事。

② 例文テストで表現の幅を広げ、自分の言葉で表現できるようになること。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「英語表現 I」（2 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目･評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目･評価 |
| 日常的な話題や社会的な話題について、モデルを示されたり、メモを見たりすれば、情報や自分の考え等を、聞く人を意識して分かりやすく発表したり、伝えたりすることができる。 | スピーチディベート | 日常的な話題や社会的な話題について、モデルを示されたり、辞書を使用したりすれば、情報や自分の考え等を複数の段落からなる文章で、読む人を意識して分かりやすく書くことができる。 | パフォーマンステスト | 日常的な話題や社会的な話題について、話す速度を配慮したり、表現を言い換えたりされれば、必要な情報を把握したり、概要や要点、詳細を理解することができる。 | リスニングテスト ディクテーションテスト | 日常的な話題や社会的な話題について、平易な語彙や表現で書かれていたり、内容の背景が解説されたりすれば、必要な情報を把握したり、概要や要点、詳細を理解することができる。 | パフォーマンステスト |

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | 英作文<br>学んだ表現を用いて与えられたテーマに沿った文を英作し発表する | まとめプリント<br>レッスンごとの文法事項のまとめプリントに取り組む<br>身近な内容を英語で表現する | 文法事項を含んだ文を、文法事項の違いに理解しながら読む | パフォーマンステスト<br>レッスン全体の理解度を測るための総合的なパフォーマンステストする |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。 | | | | |

## 4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 1<br>～<br>Lesson 2<br><br>Review 1<br>( 12 時間) | My Name Is Michel Smith<br>現在形、過去形、現在進行形、過去進行形<br><br>We Are Going to Have a Picnic<br>未来表現 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 教師やクラスメイトの発言を真剣に聞いて理解する<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する | S+V，現在形・過去形、疑問文・否定文・進行形を学習し，これらの文型を理解できる。 | 教師やクラスメイトの発言を聞いて理解する態度がみられる。<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する姿勢が見られる | 授業での「聞く、読む、話す、書く活動」それぞれへの取り組み<br>提出課題の提出状況 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 学んだ該当文法事項を用いて表現する。英語で自分や友達を紹介できる。また、自分の意思や予定を述べることができる。 | S+V，現在形・過去形・疑問文・否定文・進行形を学習し、これらの文型を使って文を作れるようにする。 | リズム，イントネーションなどの規則に従って話すことができる。<br>学んだ該当文法事項を用いて表現する姿勢が見られる | ペアでの対話練習状況、授業での教師や他の生徒の発言に対する反応 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 現在形の用法などが理解できる。意思や予定を表す表現を理解できる。 | S+V，現在形・過去形・疑問文・否定文・進行形を学習し、理解し英文を解釈する | 該当文法事項を正しく読み取ったり、聞き取ったりすることができる。 | 本文や例文の理解状況<br>リスニングテスト<br>ワークブックの回答状況 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 該当文法事項を通じて、英文に親しみ、様々な表現を学ぶ。 | S+V・現在形・過去形・疑問文・否定文・進行形を聞き取り、理解する。 | 該当文法事項を使って、日常的な場面での表現が出来る。 | 本文聞き取りやコミュニケーション活動における反応状況<br>パフォーマンステストやまとめテスト、評価問題 |
| Lesson 5<br>～<br>Lesson6<br><br>Review 2<br>( 12 時間) | It's a Small World<br>現在完了形、過去完了形、現在完了進行形、過去完了進行形<br><br>What Is This Called?<br>受動態 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 教師やクラスメイトの発言を真剣に聞いて理解する<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する | 現在完了形、過去完了形、現在完了進行形、過去完了進行形、受動態を学習し，これらを使って文を作ることができる。 | 教師やクラスメイトの発言を聞いて理解する態度がみられる。<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する姿勢が見られる | 授業での「聞く、読む、話す、書く活動」それぞれへの取り組み<br>提出課題の提出状況 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 現在完了形などを使って情報を正確に伝えることができる。英語で自分や友達の最近の出来事を説明できる。 | 現在完了形、過去完了形、現在完了進行形、過去完了進行形、受動態を学習し，これらを使って文を作ることができる。 | リズム，イントネーション，文法などの規則に従って正確に話すことができる。<br>学んだ該当文法事項を用いて表現する姿勢が見られる | ペアでの対話練習状況、授業での教師や他の生徒の発言に対する反応 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 現在完了形などを理解することができる。受動態を使った英文を正確に理解することができる。 | 現在完了形、過去完了形、現在完了進行形、過去完了進行形、受動態を理解し、英文を解釈する。 | 該当文法事項を正しく読み取ったり、聞き取ったり出来る | 本文や例文の理解状況<br>リスニングテスト<br>ワークブックの回答状況 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 該当文法事項を通じて、日常的な場面での表現を学ぶ。 | 現在完了形、過去完了形、現在完了進行形、過去完了進行形、受動態を理解する。 | 該当文法事項を使って、日常的な場面での表現が出来る。 | 本文聞き取りやコミュニケーション活動における反応状況<br>パフォーマンステストやまとめテスト、評価問題 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson4<br><br>( 12 時間) | Going to Canada to See Hiroko<br>to 不定詞 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 教師やクラスメイトの発言を真剣に聞いて理解する<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する | to 不定詞を学習し，これらの文を理解できる。 | 教師やクラスメイトの発言を聞いて理解する態度がみられる。<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する姿勢が見られる | 授業での「聞く、読む、話す、書く活動」それぞれへの取り組み<br>提出課題の提出状況 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | to 不定詞を用いて、英語で長期休暇の計画や思い出について表現することができる。また、to 不定詞を使って情報を正確に伝えることができる。 | to 不定詞を学習し，これらの文を使って英文を作ることができる。 | リズム，イントネーションなどの規則に従って話すことができる。<br>学んだ該当文法事項を用いて表現する姿勢が見られる | ペアでの対話練習状況、授業での教師や他の生徒の発言に対する反応 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | to 不定詞の 3 つの用法（名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法）の作り方を理解することができる。 | to 不定詞を理解し、英文を解釈することができる。 | 該当文法事項を正しく読み取ったり、聞き取ったり出来る | 本文や例文の理解状況<br>リスニングテスト<br>ワークブックの回答状況 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 該当文法事項を通じて、英文に親しみ、様々な表現を学ぶ。 | to 不定詞を理解する。 | 該当文法事項を使って、日常的な場面での表現が出来る。 | 本文聞き取りやコミュニケーション活動における反応状況<br>パフォーマンステストやまとめテスト、評価問題 |
| Lesson3<br>Lesson10<br>Lesson16<br><br>( 12 時間) | School Rules<br>助動詞<br><br>Photos from Hawaii<br>前置詞や分詞による後置修飾<br><br>If I Were You, I Would Practice Harder<br>仮定法過去、仮定法過去完了、I wish を用いた仮定法 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 教師やクラスメイトの発言を真剣に聞いて理解する<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する | 助動詞、後置修飾、仮定法を学習し，これらの表現を理解することができる。 | 教師やクラスメイトの発言を聞いて理解する態度がみられる。<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する姿勢が見られる | 授業での「聞く、読む、話す、書く活動」それぞれへの取り組み<br>提出課題の提出状況 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 英語で学校の規則を紹介することができる。後置修飾を使って情報を正確に伝えることができる。<br>助言や願望を表すことができる。 | 助動詞、後置修飾、を学習し，これらの文を使って英文を作ることができる。 | リズム，イントネーションなどの規則に従って話すことができる。<br>学んだ該当文法事項を用いて表現する姿勢が見られる | ペアでの対話練習状況、授業での教師や他の生徒の発言に対する反応 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 助動詞の意味と用法が理解できる。後置修飾、仮定法を使った英文を理解することができる。 | 助動詞、後置修飾、仮定法を理解し、英文を読みこなすことができる。 | 該当文法事項を正しく読み取ったり、聞き取ったり出来る。 | 本文や例文の理解状況<br>リスニングテスト<br>ワークブックの回答状況 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 該当文法事項を通じて、様々な表現を学ぶ。 | 比較、関係詞、仮定法を使った様々な表現を理解し、文を作ることができる。 | 該当文法事項を使って、日常的な場面での表現が出来る。 | 本文聞き取りやコミュニケーション活動における反応状況<br>パフォーマンステストやまとめテスト、評価問題 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson7<br>( 12 時間) | I Like Playing the Piano<br>動名詞 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 教師やクラスメイトの発言を真剣に聞いて理解する<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する | 動名詞を学習し，英文を作ることができる。 | 教師やクラスメイトの発言を聞いて理解する態度がみられる。<br>該当文法事項を正しく理解でき表現する姿勢が見られる | 授業での「聞く、読む、話す、書く活動」それぞれへの取り組み<br>提出課題の提出状況 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 動名詞を使って情報を正確に伝えることができる。英語で自分の趣味について説明することができる。 | 動名詞を学習し，英文を作ることができる。 | リズム，イントネーションなどの規則に従って話すことができる。<br>学んだ該当文法事項を用いて表現する姿勢が見られる | ペアでの対話練習状況、授業での教師や他の生徒の発言に対する反応 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 動名詞を含む英文を理解することができる。 | 動名詞を理解し、英文を解釈することができる。 | 該当文法事項を正しく読み取ったり、聞き取ったり出来る | 本文や例文の理解状況<br>リスニングテスト<br>ワークブックの回答状況 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 英語の基本的な母音・子音や，連音や音変化などを聞き取る。<br>該当文法事項を知る。 | 動名詞を理解し、英文を作ることができる。 | 該当文法事項を使って、日常的な場面での表現が出来る。 | 本文聞き取りやコミュニケーション活動における反応状況<br>パフォーマンステストやまとめテスト、評価問題 |